

なごや環境大学 共育講座



身近な自然観察会

# ミツバチから知る なごやの自然



主催：ever green

協力：なごやエコビープルネット

農薬などに弱く「都市域の生態系環境指標種」と呼ばれるミツバチを軸に、身近ななごやの都市環境を学びます。

都市の森の守り人やなごやの養蜂家たちとの出会い、また、小さな昆虫の不思議な世界を垣間見ることができる講座です。五感を使って楽しく学びましょう。



定員 20人

参加費 各回300円  
(第4回のみ500円)

第1回 10月20日(土) 10:00~11:30

生物多様性ってなんだろう?  
なごやの環境ってどうなっているの?

第2回 11月10日(土) 10:30~12:00

ニホンミツバチの不思議な生態とその魅力

京都市で市民と行政が一緒に  
行っている都市養蜂を紹介!

平成 25年  
第3回 1月26日(土) 10:00~11:30

ミツバチの好きな花は人にもやさしい?

平成 25年  
第4回 2月16日(土) 10:00~12:00

味わって知る! なごやの自然がしめ!

みつの食べ比べや、  
みつろうの利用例紹介も

講座の詳細については裏面をご覧ください。 ※各回ごとの個別受講もできます!



# 講座スケジュール

回	日時	場所	講師
受講料		講座内容	
第1回	平成24年10月20日(土) 10:00 ~ 11:30	リサイクル推進センター(予定)	長谷川 明子氏 (ビオトープネットワーク中部代表)
300円	<b>生物多様性ってなんだろう? なごやの環境ってどうなっているの?</b> どうして生物多様性が大事なんでしょう。COP10でなごやは良(変わってきている)んでしょうか。謎解(キーワードは「ESD」)		
第2回	平成24年11月10日(土) 10:30 ~ 12:00	天白スポーツセンター(予定)	坂本 文夫氏 (京都学園大学バイオ環境学部教授)
300円	<b>ニホンミツバチの不思議な生態とその魅力</b> ニホンミツバチの研究の過程で明らかになってきたニホンミツバチに特有な、蘭の花への集結とスズメバチへの対抗についての研究や、京都の区役所屋上で行っている都市養蜂についてもご紹介します。		
第3回	平成25年1月26日(土) 10:00 ~ 11:30	東山植物園植物会館研修室	飯尾 俊介氏 (緑・花博士 / 生物多様性保全活動協議会会員)
300円 入園料 別途必要	<b>ミツバチの好きな花は人にもやさしい?</b> ミツバチが集まる花があります。どんな花なんでしょうか? ミツバチの好みを知れば、ミツバチの気持ちが分かるかも!?		
第4回	平成25年2月16日(土) 10:00 ~ 12:00	中生涯学習センター(予定)	吉田 雅紀氏 (尾張自然観察会) 松本 イズミ氏 (植物療法家 / NPO フィトラボ代表)
500円	<b>味わって知る! なごやの自然グルメ!</b> 百花ミツと単花ミツの食べ比べやなごやの自然がもたらすクッキング! ミツロウの利用例も紹介!		 

申込・問合せ先 evergreen : koyomiasobi@gmail.com (受付確認後、返信いたします!)

※ 会場へのお問い合わせはご遠慮ください。

主催: evergreen 代表 谷 英樹 (Nature インストラクター)

建設業土木の現場監督を20年弱。身近な自然を壊し続けてきました。10年ほど前ある現場をきっかけに自然の声を人に伝えようと決断。ビオトープの学校で動植物の視点に立つての自然再生について学ぶ。

その後、小学校ビオトープ調査、環境学習講師、国土交通省河川愛護モニター、西尾市環境リーダー、COP10自然観察ガイド、なごやミツバチプロジェクトなどをへて今現在、みらいの森の学校設立を目標にイベント、講演会に日々励んでいる。

子供も大人も自然も“しぜんのまま”を大切にしたい。

毎週日曜日 11:00 ~ 12:00 エフエムとよたラジオラビィート 78.6MHz  
『evergreen 奇跡の星』自然の話をいっぱい放送中



# ミツバチから知るなごやの自然



第2回

ニホンミツバチの不思議な生態とその魅力

日時

平成24年 **11月10日(土)**  
10:30 ~ 12:00



講師

**坂本 文夫 氏**

(京都学園大学バイオ環境学部教授)



場所

**天白スポーツセンター**

参加費



**300円**

講座にご参加頂いた方に、名古屋産  
ニホンミツバチのハチミツをプレゼント!!



「ニホンミツバチ」

身近に存在しながら、謎が多いニホンミツバチ。  
特有な蘭の花への集結やスズメバチへの対抗など、  
研究過程で明らかになってきたニホンミツバチの興味深い生態とは!?

「京都：市民と行政の協働」

京都市の中京区は市街地であるため緑地が少なく、2005年から区役所の屋上を緑化し、区民ボランティアと共に緑化事業に取り組んでいました。そこに、2011年から2万匹のニホンミツバチの巣箱を設置し、ボランティアとともに飼育をはじめました。  
生き物であるミツバチを役所の上で飼い、ボランティアが世話をする。他ではあまり例をみない協働事業の成果はいかに!?

主催：ever green

協力：なごやエコピープルネット

申込・問合せ先 evergreen : koyomiasobi@gmail.com (受付確認後、返信いたします!)